



LIONS INTERNATIONAL
TAJIMI LIONS CLUB

3RD ZONE 2ND REGION DISTRICT 334-B JAPAN

1582回例会プログラム
(入会式)

2026/8/20(木) 18:15

多治見市産業文化センター 大会議室

司会 L.足立判太郎

- | | |
|------------------------------|---------------|
| 18:15 開会ゴング | 会 長 |
| ◎ 国旗並びにライオンズ旗に礼 | 全 員 |
| ◎ 国歌斉唱 | 全 員 |
| ◎ ライオンズクラブの歌唱和 | 全 員 |
| ◎ 会長挨拶 | 会 長 |
| ◎ 公認ガイディング・ライオン認定証の授与 L.太田 守 | 会 長 |
| ◎ 入会式 新入会員 伊佐治 歩 様 | |
| | 会員委員長 L.鈴木亜由美 |
| ◎ 2025年度会計報告 | 前会計 L.水野秀利 |
| ◎ 2025年度会計監査報告 | 前会計監査 L.須永啓之 |
| ◎ テールツイスターの活躍 | L.木野村匡 |
| ◎ 理事会報告 | L.井澤英寿 |
| ◎ 委員会報告 | 各委員長 |
| ◎ 幹事報告 | L.井澤英寿 |
| ◎ ドネーション報告 | L.木野村匡 |
| ◎ 出席報告 | L.伊藤浜三 |
| ◎ また会う日まで | 全 員 |
| 閉会ゴング | |

2026年度会長スローガン

「まず行動、一人の一步が大きな奉仕へ」

1人1人が We serve の精神で一步を踏み出すことによって
大きな力となって、地域に奉仕していこう。

幹 事 報 告

振込報告

- ◎複合地区費・複合大会費
日本ライオンズ賛助会費 合計 153,520 円
- ◎地区費・地区大会費 合計 365,700 円
地区 YCE 協力金 合計 52,000 円
- ◎ゾーン協力金・G 公式訪問登録料 合計 216,000 円
※各お振込みを完了いたしました。

事業報告

- ◎LCIF 寄付 1,000 \$ 3 名 491,262 円
 L. 山田輝幸 L. 井澤英寿 L. 河地昌彦
- ◎熊本地震アラートクラブ寄付 100,000 円
 8/20 ライオンズクラブ国際協会へ送金しました

事業予定

- ライオンズ眼科検診「目の愛護デー関連事業」
日 時 10 月 9 日(金) ～ 10 月 23 日 (金)
場 所 多治見市保健センター ※完全予約制
問い合わせ・申し込み 9 月 7 日 9 時～ TEL : 0572-23-5960

会議報告

- ◎第 1 回地区 G 諮問委員会
日 時 8 月 10 日(月)
場 所 八勝園湯元館 土岐市鶴里町柿野 1719-3
出席者 L. 岡山賢司 L. 山田輝幸 L. 林浩司
 L. 井澤英寿 L. 河地昌彦 事務局

会議予定

- ◎地区 G 公式訪問 囲む会
日 時 9 月 4 日(金) 11 : 00～12 : 00
場 所 セラトピア土岐 3F 会議室
出席予定者 L. 松尾精介 L. 山田輝幸 L. 林 浩司
 L. 井澤英寿 事務局

次回例会案内

◎9 月第一例会（G 公式訪問 3Z 合同例会）

日 時 9 月 4 日（金） 13：30～14：40 ※13：15 集合

場 所 セラトピア土岐 3F 大会議室

※理事会は行いません。

※服装はクールビズで OK です（上着着用・ノーネクタイ）

休局日

◎8 月 24 日 8 月 31 日

アクティビティ報告書

ク ラ ブ 名	多治見ライオンズクラブ	報告者名	L 小池 高寛
実 施 年 月 日	2026年7月8日(水)	報 告 日	8月18日
ア ク テ ィ ビ テ ィ 名 称	薬物乱用出前講座		
アクティビティ項目の分類	薬物乱用防止		
	臓器ドネーション・青少年健全育成・環境保全・YCE・LCIF・その他		

内容(誰が・どこで・何を・どのように・参加者数・対象者数)

開催場所:多治見市立平和中学校 シアタールーム

対 象:三年生72名(3クラス) PTA役員4名 東濃保健所1名

講 師:多治見ライオンズクラブ15名

講座時間:午後1時40分～午後2時30分(50分)

講座内容:①薬物乱用防止啓発DVD(20分) ②回答用紙に各自意見を記入(5分)

③各グループで討議し発表(15分) ④薬物とは何か(5分)

⑤オーバードーズについて説明(5分)

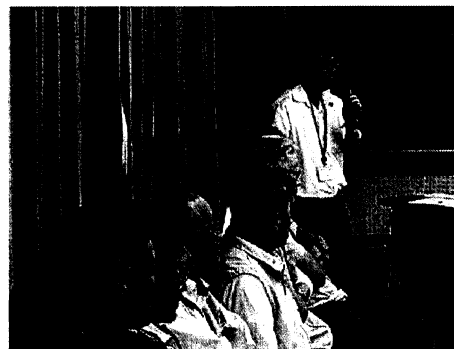
感 想:何でも気軽に、購入できる現在において、市販薬による薬物乱用が問題となっている現在、オーバードーズの依存症や危険性を出前講座にて、啓発することができました。

改 善 点:タバコ、シンナーなど私が若い頃、危険視されてた物より、危険ドラッグの種類の手軽に購入できる現在社会です。現実離れした映像ではなく、身近な危険を啓発する必要があります。薬物の表の顔、裏の顔を紹介するなど、少々明るい(?)イメージの出前講座でいいかと思いました。

アクティビティの内容(写真・新聞記事など)



山田会長挨拶



東濃保健所職員による薬物の説明



ライオンズメンバーと生徒で意見をまとめる



意見を各グループ代表者が発表